

＜長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科＞
【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

目 次

1	調査対象大学等の概要等	3～6
2	授業科目の概要	7～10
3	施設・設備の整備状況，経費	11
4	既設大学等の状況	12
5	教員組織の状況	13～18
6	留意事項に対する履行状況等	19
7	その他全般的事項	20～23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 関西文理総合学園

(2) 大学名

長浜バイオ大学

(3) 大学の位置

〒526-0829

滋賀県長浜市田村町1266番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ タモツ) 吉田 保 (平成15年4月)		
学長	(シモニシ ヤスツグ) 下西 康嗣 (平成15年4月)	(ミワ マサナオ) 三輪 正直 (平成23年4月)	前学長任期満了による退任のため(23)
学部長	(ミワ マサナオ) 三輪 正直 (平成19年4月)	(イケムラ トシミチ) 池村 淑道 (平成23年4月)	前学部長任期満了による退任のため(23)
学科長等		(ヤマモト アキツグ) 山本 章嗣 (平成21年4月) (サイトウ オサム) 齊藤 修 (平成23年4月)	届出申請後に就任(21) 前学科長任期満了による退任のため(23)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科 学士(バイオサイエンス)	4年	50人	- 年次 人	200人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	-	-	50人	-	50人	-	50人	-	50人	-	1.24倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
志願者数	-	-	356	-	423	-	553	-				
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
受験者数	-	-	351	-	421	-	547	-				
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
合格者数	-	-	193	-	199	-	261	-				
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
B 入学者数	-	-	58	-	59	-	70	-				
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
入学定員超過率 B/A	-		1.16		1.18		1.40					

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] -	[-] -	[-] 58	[-] -	[1] 59	[-] -	[5] 70	[-] -			
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] 58	[-] -	[1] 58	[-] -			
3年次			/		/		[-] -	[-] -	[-] 58	[-] -	
4年次	/						/		/		[-] -
計			[-] -	[-] -	[-] 58	[-] -					[1] 117

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [-]	(累積)計 [-]	- %
	うち平成20年度入学者 - 人	うち平成20年度 - 人	
	(主な退学理由) 該当なし		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	0%
	うち平成20年度入学者 - 人	うち平成20年度 - 人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 58人	
	(主な退学理由) 該当なし		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [1]	0.9%
	うち平成20年度入学者 - 人	うち平成20年度 - 人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 58人	
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 59人	
	(主な退学理由) ・就職 1人		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会科目	哲学	1前		2								履修希望者がいなかったため (23) 留学生科目
	法学 (日本国憲法)	1後		2								
	歴史学	1後		2								
	日本文化論	1前		2								
	心理学	1前		2								
	情報社会	1後		2								
	科学技術史	1前		2								
	日本の歴史と文化	未開講 2前		2								
	文学	2前		2								
	経済学	2後		2								
現代の政治と社会	3前		2									
健康科目	健康保健学	1前	2									
外国語科目	英語 I	1前	1								より内容に即した名称に変更。(23) 留学生科目 より内容に即した名称に変更。(23) 留学生科目	
	英語 II	1後	1									
	科学英語 I	2前	1									
	科学英語 II	2後	1									
	英会話 I	2前	1									
	英会話 II	2後	1									
	日本語 I											
	日本語会話 I	1前	1									
	日本語 II											
	日本語会話 II	1後	1									
スキル科目	英語 III	3前		1								
	英語 IV	3後		1								
文章表現	1前		1									
プレゼンテーション技法	1後		1									
情報科目	コンピュータ実習 (情報科学演習) I	1前	2									
	コンピュータ実習 (情報科学演習) II	1後	2									
自然科学科目	数学 I (数学基礎)	1前		2							系統履修の見直しによる変更。(23) 系統履修の見直しによる変更。(23) 系統履修の見直しによる変更。(23)	
	数学 II (解析学)	1後		2								
	数学 III (線形代数学)	1前		2								
	基礎統計学	2後		2								
	基礎物理学 I (力学)	1前		2								
	基礎物理学 II (電磁気学)	1後		2								
	化学 I (有機化学)	1後		2								
	基礎生物学	1前	2									
	基礎化学演習	1前	2									
	自然科学基礎実験	1前	2				1	1		1		
キャリア科目	ライフデザイン	1前 1後	2		2	1					本科目を初年次教育として位置付け、その充実を図る理由により、配当学期を変更。(21) 教育内容の充実を図る目的により、教員を追加。(23) 担当 永井信夫 (教授) キャリア教育充実を図る目的により、配当学期を変更。(22)	
	キャリア開発 I	2前									(キャリア科目全般) キャリア教育充実を図る目的により、科目を追加し、必修化を進めた。(23)	
	キャリア開発 II	2後	2		2							
	長浜バイオ大学魅力発見発信プロジェクト	3前		2	2							
	長浜まちづくり魅力発見発信プロジェクト	1後		1								
	論理的思考力開発	2後		1								
	知的財産管理入門	2集中		2								
	簿記入門	2集中		2		2						
	インターンシップ実習	2集中		2		2						
		3後		1		1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 エ ッ セ ン シ ャ ル 科 目	化学Ⅱ（物理化学）	1後		2								<p>系統履修の見直しによる変更。(23)</p> <p>教育内容の充実を図る目的により、教員を追加。(23) 担当 永井信夫（教授）</p> <p>教育内容の充実を図る目的により、教員を追加。(23) 担当 永井信夫（教授）</p>
	化学Ⅲ（無機・分析化学）	1後		2								
	生化学Ⅰ（生体成分化学）	1前										
	細胞生物学Ⅰ	1後	2									
	基礎微生物学	1前		2								
	動物学概論	1後	2			1		1				
	動物管理学	1後	2			2						
	遺伝子科学基礎実験	1後	1					1				
	分子科学基礎実験	1後	1				1					
	細胞科学基礎実験	1後	1			1						
動物科学基礎実験	1後	1			2				1			
専 門 ブ ロ グ レ ス 科 目	安全学	2前		2								
	タンパク質科学	2前	2									
	細胞生物学Ⅱ	2前	2									
	組織学	2前		2		1						
	機器分析概論	2前		2								
	ゲノム解析学	2後		2								
	酵素科学	2後		2								
	動物遺伝子科学	2前	2			1						
	遺伝子工学	2後		2								
	環境影響評価論	2後		2								
	生体高分子解析学	2後		2								
	生命倫理	2後	2			1						
	生化学Ⅱ（代謝生化学）	2後	2									
	環境生態学	2前		2								
	動物生理学	2前	2			1						
	動物生殖学	2後		2		1						
	食品安全評価学	2後		2			1					
	神経科学	2後		2		1						
	生命情報科学応用実習Ⅰ	2前	2									
	生命情報科学応用実習Ⅱ	2後	2									
	遺伝子科学応用実験Ⅰ	2前	1			1						
	遺伝子科学応用実験Ⅱ	2後	1			1						
	分子科学応用実験Ⅰ	2前	1			1						
分子科学応用実験Ⅱ	2後	1			1							
細胞科学応用実験Ⅰ	2前	1										
細胞科学応用実験Ⅱ	2後	1										
動物科学応用実験Ⅰ	2前	1			1				1			
動物科学応用実験Ⅱ	2後	1			2				1			
専 門 ア ド バ ン ス ト 科 目	進化生物学	3前		2								
	生体分子応答学	3前		2								
	ゲノム創薬科学	3前		2								
	バイオマテリアル産業論	3後		2								
	食品機能科学	3後		2								
	応用微生物学	3前		2								
	病態生化学	3前		2		1						
	生物生産学概論	3前		2					1			
	発生生物学	3前		2								
	動物発生学	3前		2		1						
	動物病理学	3後		2		1						
	感染生物学	3後		2		2		1				
	糖質生物学	3後		2								
動物栄養学	3前	2				1						
発生工学	3後		2				1					
薬理学	3後		2		1							
動物系統分類学	3後		2				1					
医学生物学	3前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 アドバンス ト科目 教育科目	遺伝子科学専門実験	3前	1			1					教育内容の充実を図る目的により、教員を追加。(23) 担当 山本章嗣(教授) 野村慎太郎(教授) 永井信夫(教授) 中村肇伸(講師) 系統履修の見直しによる変更。(23)
	動物科学専門実験Ⅰ	3前	1			1					
	動物科学専門実験Ⅱ	3後	4			3	1	2			
	動物科学専門実験Ⅲ	3前	1			1		1			
	動物科学専門実験Ⅳ	3前	1			1					
	動物科学演習	3前	1			4 1		1			
	動物行動管理実習	3集		1		1					
	野外調査実習	3集		1				1			
	環境保全学	4前		2							
	生理活性物質概論	3前 4前		2							
	公衆衛生学	4前		2							
文献調査・講読	4通	2			5	1	2				
専門 総合科目	卒業研究	4通	8			5	1	2			
特定 教育科目	特殊講義(単位互換)	1後								他大学等における単位互換科目	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況			
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
48	58	4	110	50	62	3	115
				[2]	[4]	[Δ1]	[]

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校舎敷地	41,879.98㎡	0㎡	0㎡	41,879.98㎡			
	運動場用地	6,000.00㎡	0㎡	0㎡	6,000.00㎡			
	小 計	47,879.98㎡	0㎡	0㎡	47,879.98㎡			
	そ の 他	2,867.00㎡	0㎡	0㎡	2,867.00㎡			
	合 計	50,746.98㎡	0㎡	0㎡	50,746.98㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		18,068.3㎡ (18,068.3㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	18,068.3㎡ (18,068.3㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	8室	7室	57室	3室 (補助職員 1 人)	1室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成23年4月 専任講師1名を新規採用のため(23)		
	バイオサイエンス学部アニマルバイオサイエンス学科			8 室 7				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	届出時に数値を記載する必要がなかったため、昨年度報告時からの増加分を記載(23)
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	冊	種	〔うち外国書〕					
	バイオサイエンス学部	(20,893 [3,964]) (-19,091 [-3,801])	(1,414 [1,356]) (-1,368 [-1,325])	(1,351 [1,351]) (-1,321 [-1,321])	(353) (- 94)	(18,564) (-18,327)	(0)	
計	(20,893 [3,964]) (-19,091 [-3,801])	(1,414 [1,356]) (-1,368 [-1,325])	(1,351 [1,351]) (-1,321 [-1,321])	(353) (- 94)	(18,564) (-18,327)	(0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	604.53㎡		148		50,000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,308.97㎡		テニスコート2面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	3,000千円	3,000千円	
	共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	20,000千円	40,000千円	20,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,600千円	1,450千円	1,450千円	1,450千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	長浜バイオ大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
バイオサイエンス学部									
バイオサイエンス学科	4	148	4	650	学士	1.26	平成15 年度	滋賀県長浜市田 村町1266番地	平成21年度より 入学定員を198人 →148人に変更
コンピュータバイオサ イエンス学科	4	40	—	120	学士	1.24	平成21 年度	滋賀県長浜市田 村町1266番地	
アニマルバイオサイエ ンス学科	4	50	—	150	学士	1.24	平成21 年度	滋賀県長浜市田 村町1266番地	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	三輪 正直 (67) (高)	平成21年4月	動物管理学 動物科学基礎実験 生命倫理 病態生化学 感染生物学 動物科学専門実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅳ 動物科学演習 文献調査・講読 卒業研究						
専	教授	山本 章嗣 (56)	平成21年4月	動物学概論(※) 細胞科学基礎実験 組織学 動物病理学 動物科学応用実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅰ 動物行動管理実習 文献調査・講読 卒業研究					動物学概論(※) 細胞科学基礎実験 組織学 動物病理学 動物科学応用実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅰ 動物行動管理実習 文献調査・講読 卒業研究 動物科学演習(※)	「動物科学演習」科目の担当追加(23)
専	教授	野村 慎太郎 (54)	平成22年4月	動物発生学 動物生殖学 分子科学応用実験Ⅰ 分子科学応用実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅲ 文献調査・講読 卒業研究					動物発生学 動物生殖学 分子科学応用実験Ⅰ 分子科学応用実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅲ 文献調査・講読 卒業研究 動物科学演習(※) 感染生物学(※) 動物科学専門実験Ⅳ	「動物科学演習」「感染生物学」「動物科学専門実験Ⅳ」科目の担当追加(23)
専	教授	斎藤 修 (49)	平成22年4月	動物遺伝子科学 神経科学 遺伝子科学応用実験Ⅰ 遺伝子科学応用実験Ⅱ 遺伝子科学専門実験 文献調査・講読 卒業研究		斎藤 修				氏名の「斎」を「齊」に変更(21)
専	教授	永井 信夫 (44)	平成22年4月	動物生理学 薬理学 動物科学応用実験Ⅰ 動物科学応用実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究					動物生理学 薬理学 動物科学応用実験Ⅰ 動物科学応用実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究 動物管理学(※) 動物科学演習(※) ライフデザイン(※) 動物科学基礎実験	「動物管理学」「動物科学演習」「ライフデザイン」「動物科学基礎実験」科目の担当追加(23)
専	准教授	河内 浩之 (41)	平成21年4月	食品安全評価学 動物栄養学 自然科学基礎実験 分子科学基礎実験 動物科学専門実験Ⅱ 文献調査・講読 卒業研究		河内 浩行				氏名の「之」を「行」に変更(21)
専	講師	和田 修一 (36)	平成21年4月	動物学概論(※) 発生生物学 動物系統分類学 自然科学基礎実験 遺伝子科学基礎実験 動物科学専門実験Ⅱ 野外調査実習 文献調査・講読 卒業研究						
専	講師	中村 肇伸 (34)	平成23年4月	発生工学 動物科学専門実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅲ 文献調査・講読 卒業研究					発生工学 動物科学専門実験Ⅱ 動物科学専門実験Ⅲ 文献調査・講読 卒業研究 動物科学演習(※) 感染生物学(※)	「動物科学演習」「感染生物学」科目の担当追加(23)

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	福田 常彦 (64) (高)	平成21年4月	化学Ⅰ(有機化学) 生化学Ⅰ(生体成分化学)	兼任 兼任 兼任	准教授 講師 講師	河合 靖 (46) 長谷川 慎 (39) 中村 卓 (38)	平成22年4月 平成22年4月 平成22年4月	化学Ⅰ(有機化学) 生化学Ⅰ(生体成分化学) 生化学Ⅰ(生体成分化学)	福田常彦定年退職(平成22年3月31日)に伴う担当者変更(22)
					兼任	准教授	向井 秀仁 (49)	平成23年4月	化学Ⅰ(有機化学) 生化学Ⅰ(生体成分化学)	新規任用に伴い担当者変更(23)
兼任	教授	大島 淳 (52)	平成21年4月	基礎微生物学 遺伝子工学 インターンシップ実習						
兼任	教授	蔡 晃植 (48)	平成21年10月	細胞生物学Ⅰ			蔡 晃植			氏名の「植」を「植」に変更(21)
兼任	教授	松島 三兒 (56)	平成21年10月	ライフデザイン キャリア開発Ⅰ キャリア開発Ⅱ 生物生産学概論					ライフデザイン キャリア開発Ⅰ キャリア開発Ⅱ 生物生産学概論 長浜バイオ大学魅力発見 発信プロジェクト 長浜まちづくり魅力発見 発信プロジェクト	「長浜バイオ大学魅力発見 発信プロジェクト」「長浜まち づくり魅力発見発信プロジェ クト」新規科目の担当追加 (23)
兼任	教授	西 義介 (59)	平成22年4月	タンパク質科学 バイオマテリアル産 業論						
兼任	教授	白井 剛 (42)	平成22年4月	生命情報科学応用実 習Ⅰ						
兼任	教授	伊藤 正恵 (51)	平成22年4月	安全学(※)					安全学(※) 感染生物学(※)	「感染生物学」科目の担当追 加(23)
兼任	教授	太田 伸二 (50)	平成22年4月	機器分析概論 環境生態学					機器分析概論	「環境生態学」科目の担当変更 に伴う担当科目の変更(22)
					兼任	教授	山本 博章 (57)	平成22年4月	環境生態学 環境保全学	新規任用に伴い担当者変更(22) 「環境保全学」科目の担当変更 (23)
兼任	教授	池村 淑道 (68) (高)	平成22年10月	生命情報科学応用実 習Ⅱ						
兼任	教授	植月 太一 (51)	平成22年10月	細胞科学応用実験Ⅱ						
兼任	教授	水上 民夫 (54)	平成23年4月	ゲノム創薬科学						
					兼任	教授	高畑 京也 (57)	平成22年4月	細胞科学基礎実験 細胞科学応用実験Ⅰ 細胞科学応用実験Ⅱ	新規任用に伴い担当者変更(22)
兼任	准教授	岩本 昌子 (46)	平成21年4月	基礎生物学 生化学Ⅱ(代謝生化学)					細胞科学基礎実験 基礎生物学 生化学Ⅱ(代謝生化学) ライフデザイン(※)	「細胞科学基礎実験」科目の担 当変更に伴う担当科目の追加 (21) 「ライフデザイン」科目の担当追 加(23)
兼任	准教授	高橋 健一 (41)	平成21年4月	基礎物理学Ⅰ(力学) 化学Ⅱ(物理化学) 生命情報科学応用実 習Ⅰ 生命情報科学応用実 習Ⅱ						
兼任	准教授	河合 靖 (45)	平成22年4月	安全学(※) 酵素科学		教授		平成22年10月	化学Ⅰ(有機化学)– 安全学(※) 酵素科学	「化学Ⅰ(有機化学)」科目の担 当変更に伴う担当科目の追加 (22) 教授へ昇格、「化学Ⅰ(有機化 学)」科目の担当変更(23)
兼任	准教授	小宮 徹 (41)	平成22年4月	細胞生物学Ⅱ						

届出時の計画				変更状況					備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名	
兼任	准教授	大島 一彦 (42)	平成22年10月	ゲノム解析学 進化生物学 生命情報科学応用実習Ⅱ							
兼任	准教授	立花 千尋 (56)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ				平成21年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	早期就任が可能となったことで「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」科目のクラス充実に伴う担当科目の追加(21)	
					兼任	講師	大加茂 巧 (57)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ	立花千尋准教授退職(平成23年3月31日)に伴う担当者の変更(23)	
兼任	准教授	向 由起夫 (44)	平成23年4月	応用微生物学 環境保全学					応用微生物学 環境保全学	「環境保全学」科目の担当変更(23)	
兼任	講師	今村 綾 (36)	平成21年4月	基礎化学演習							
兼任	講師	長谷川 慎 (38)	平成21年4月	基礎化学演習 生体高分子解析学		准教授			平成22年10月	生化学Ⅰ(生体成分化学) 基礎化学演習 生体高分子解析学	「生化学Ⅰ(生体成分化学)」科目の担当変更に伴う担当科目の追加(22) 准教授へ昇格、「生化学Ⅰ(生体成分化学)」科目の担当変更(23)
兼任	講師	依田 隆夫 (36)	平成21年4月	基礎物理学Ⅰ(力学) 基礎物理学Ⅱ(電磁気学) 生命情報科学応用実習Ⅰ							
兼任	講師	奈良 篤樹 (36)	平成22年4月	細胞科学応用実験Ⅰ				平成21年4月	基礎化学演習 細胞科学応用実験Ⅰ	早期着任による就任年月の変更と「基礎化学演習」科目のクラス充実に伴う担当科目の追加(21)	
兼任	講師	塩生 真史 (34)	平成22年4月	基礎統計学 生命情報科学応用実習Ⅰ 生命情報科学応用実習Ⅱ					基礎統計学 生命情報科学応用実習Ⅰ 生命情報科学応用実習Ⅱ ライフデザイン(※)	「ライフデザイン」科目の担当追加(23)	
兼任	講師	亀村 和生 (40)	平成22年10月	糖質生物学 細胞科学応用実験Ⅱ				平成21年4月	基礎化学演習 糖質生物学 細胞科学応用実験Ⅱ	早期着任による就任年月の変更と「基礎化学演習」科目のクラス充実に伴う担当科目の追加(21)	
兼任	講師	池内 俊貴 (41)	平成23年4月	生体分子応答学					生体分子応答学 ライフデザイン(※)	「ライフデザイン」科目の担当追加(23)	
兼任	講師	中村 卓 (37)	平成24年4月	生理活性物質概論					生理活性物質概論 ライフデザイン(※) 生化学Ⅰ(生体成分化学)	「生化学Ⅰ(生体成分化学)」科目の担当変更に伴う担当科目の追加(22) 「生化学Ⅰ(生体成分化学)」科目の担当変更、「ライフデザイン」科目の担当追加(23)	
					兼任	講師	西郷甲矢人 (28)	平成23年4月	数学Ⅰ(基礎数学) 数学Ⅱ(解析学) 数学Ⅲ(線形代数)	新規任用に伴い担当者を追加(23)	
兼任	講師	山本 圭一郎 (36)	平成21年4月	哲学							
兼任	講師	佐藤 宗諄 (70)	平成21年4月	日本文化論 歴史学	兼任	教授	水本 邦彦 (63)	平成21年4月	日本文化論 歴史学	担当者変更(21)	
兼任	講師	田積 徹 (40)	平成21年4月	心理学							
兼任	講師	雀部 晶 (59)	平成21年4月	科学技術史							
兼任	講師	岡本 進 (65)	平成21年4月	健康保健学	兼任	講師	南 和広 (38)	平成22年4月	健康保健学	担当者変更(22)	
兼任	講師	川野 一郎 (47)	平成21年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ	兼任	講師	三木訓子 (51)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ	担当者変更(23)	
					兼任	講師	岸本映子 (60)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	担当者変更(23)	

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	松本 慶子 (56)	平成21年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ					英語Ⅰ 英語Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ	担当科目変更(23)
					兼任	講師	田中 真 (50)	平成22年4月	科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ	科学英語のクラス増設に伴う担当者の追加(22) 担当科目の追加(23)
兼任	講師	八木 かず子 (56)	平成21年4月	日本語会話Ⅰ 日本語会話Ⅱ					日本語Ⅰ 日本語Ⅱ	科目名称の変更(23)
兼任	講師	江口 幸子 (44)	平成21年4月	文章表現						
兼任	講師	三輪 幸一 (56)	平成21年4月	コンピュータ実習 (情報科学演習)Ⅰ コンピュータ実習 (情報科学演習)Ⅱ						
兼任	講師	杉本 英昭 (36)	平成21年4月	コンピュータ実習 (情報科学演習)Ⅰ コンピュータ実習 (情報科学演習)Ⅱ						
					兼任	講師	畠山 茂昭 (58)	平成21年4月	コンピュータ実習(情報科学演習)Ⅰ コンピュータ実習(情報科学演習)Ⅱ	受講環境の充実のためクラス増設に伴う担当者の追加(21)
兼任	講師	笹尾 一郎 (39)	平成21年4月	数学Ⅰ(数学基礎) 数学Ⅱ(解析学) 数学Ⅲ(線形代数学)						
兼任	講師	酒井 久満 (61)	平成21年4月	数学Ⅰ(数学基礎)					数学Ⅰ(数学基礎) 数学Ⅱ(解析学) 基礎物理学Ⅰ(力学)	「数学Ⅱ(解析学)」「基礎物理学Ⅰ(力学)」クラス複数設置に伴う担当科目の追加(23)
兼任	講師	岸本 正司 (63)	平成21年10月	法学(日本国憲法)						
兼任	講師	宇佐美 照夫 (60)	平成21年10月	情報社会						
兼任	講師	中山 順子 (58)	平成21年10月	プレゼンテーション技法						
兼任	講師	橋本 圭二 (71)	平成21年10月	化学Ⅲ(無機・分析化学)						
兼任	講師	京楽 真帆子 (46)	平成22年4月	日本の歴史と文化						
兼任	講師	野部 博子 (63)	平成22年4月	文学						
兼任	講師	Peter Mauser (40)	平成22年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ						
兼任	講師	Karl Hedberg (41)	平成22年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	兼任	講師	Carl Boland (40)	平成23年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	担当者の変更(23)
					兼任	講師	Mark Weisner (48)	平成22年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	受講環境の充実のためクラス増設に伴う担当者の追加(22)
兼任	講師	吉川 英治 (43)	平成22年10月	経済学						

届出時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	野間 直彦 (43)	平成22年10月	環境影響評価論(※)						
兼任	講師	錦澤 滋雄 (35)	平成22年10月	環境影響評価論(※)	兼任	講師	土屋 正春 (66)	平成21年10月	環境影響評価論(※)	平成21年10月担当者変更(22)
兼任	講師	宗野 隆俊 (39)	平成23年4月	現代の政治と社会	兼任	講師	玉井 亮子 (35)	平成23年4月	現代の政治と社会	担当者変更(23)
兼任	講師	三田 俊雄 (68)	平成23年4月	英語Ⅲ 英語Ⅳ						
兼任	講師	小笠原 一誠 (54)	平成23年4月	医学生物学(※)						
兼任	講師	伊藤 靖 (44)	平成23年4月	医学生物学(※)						
兼任	講師	石垣 宏仁 (34)	平成23年4月	医学生物学(※)						
兼任	講師	別所 美紗子 (28)	平成23年4月	医学生物学(※)						
兼任	講師	金丸 恒雄 (68)	平成23年10月	食品機能科学	兼任	講師	武富 滋久 (64)	平成23年10月	食品機能科学	担当者変更(23)
兼任	講師	草野 文嗣 (72)	平成24年4月	公衆衛生学						

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(○)学部 △学科の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	1	2	0	8	1	5	1	2	0	8	3	
(2)	(1)	(1)	(0)	(4)	(1)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当なし	
2			
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

＜バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科＞

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>IX. 取得資格 アニマルバイオサイエンス学科においては、厚生労働大臣への養成課程登録申請を行った上で、食品衛生法に基づく「食品衛生管理者」および「食品衛生監視員」の資格を取得できるようにする。 これらの資格は養成施設としての登録を厚生労働大臣に申請して認められることが必要であるが、資格取得のために必要となる履修科目は、本学科に設置する科目を充てることで可能であり、追加科目を履修する必要はない。</p>	<p>アニマルバイオサイエンス学科が「食品衛生管理者養成施設および食品衛生監視員養成施設」としての登録を受けるべく、平成20年11月20日付で近畿厚生局に申請を行い、平成21年3月17日付で養成施設（アニマルバイオサイエンス学科食品衛生課程）として登録された。 その結果、アニマルバイオサイエンス学科では、所定の単位を修得することで、卒業時に「食品衛生管理者」および「食品衛生監視員」の資格取得が可能となった。</p>

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>長浜バイオ大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程 (2006年5月16日 規程第68号) (設置目的)</p> <p>第1条 長浜バイオ大学（以下「本学」という。）は、教育・研究の質的向上を図るためにファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）委員会を設置する。 (FDの対象)</p> <p>第2条 本学が対象とするFDは各号に定められた範囲とする。 (1) 本学の専任教員（助手を含む）の活動によるもの。 (2) 本学が雇用する教育・研究の補助職員（実験・実習助手）の活動によるもの。 (3) 本学の専任職員（嘱託職員および契約職員を含む。）の活動によるもの。 (4) 委員会が認めた非常勤講師の活動によるもの。 (5) 委員会が認めたTA、SA、RAなどの学生・院生の活動によるもの。 (6) その他、学長が特に認めたもの。 (委員会)</p> <p>第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。 (1) 学長 (2) 学部長（研究科長） (3) 教務部長 (4) 事務局長 (5) 学長が個別に委嘱する者 若干名 (6) 教務課長およびFD担当者 (委員長)</p> <p>第4条 委員会に委員長を置き、学長が兼任する。 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。 3 委員長に事故があるときは、第3条の3号の委員がその職務を代行する。 (任 務)</p> <p>第5条 委員会は、教育・研究の能力向上、その他教育改善を図るため、次に掲げる事項を審議し、FDを推進する。 (1) FD推進ための企画および実施に関すること。 (2) FDに関する記録および報告書等の作成に関すること。 (3) 大学が取り組む教育改善に関する講演会、シンポジウム等の支援に関する事項。 (4) 教育・研究などに関する調査やアンケートの企画および分析に関する支援事項。 (5) その他FDに関して委員会が必要と認めた事項 (会 議)</p> <p>第6条 委員会は、委員の過半数をもって成立し、議事は、出席委員の過半数をもって決定する。賛否同数の場合は、議長の決するところによる。 2 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者を出席させ意見を聞くことが出来る。 (事 務)</p> <p>第7条 委員会の事務は、関連部課の協力を得て教務課が担当する。 (その他)</p> <p>第8条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。 (改 廃)</p> <p>第9条 この規程の改廃は、委員会の議を経て、学長が行う。 付 則 この規程は、2006年5月16日から施行され、2009年6月3日に改正・施行する。但し、2009年4月1日から適用する。（第3条追加・改正）</p>
--

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

本学におけるFD委員会の開催については、年度初（5月下旬～6月上旬）の開催を原則としている。主な審議事項としては、前年度決算報告と当年度予算審議、当年度FD取組方針審議と学部・大学院部会における前年度活動総括、および当該年度活動予定の審議である。本委員会での活動方針と予算の承認を経て、学部・大学院ごとに各々の部会におけるFD活動を展開している。

本委員会の委員構成としては、学長を委員長として、教員側は学部長、研究科長、教務部長、学部部長及び大学院部会長が委員として参加している。また、事務局側からは事務局長、教務課長および教務課FD担当職員も委員として参加し、FDの場におけるSDの在り方をも同時に図るようにしている。

c 委員会の審議事項等

- (1) 規程制定・改定に関する事項
- (2) FD関連予算及び決算に関する事項
- (3) 学部部会、大学院部会におけるFD活動についての評価と助言

② 実施状況

a 実施内容

- (1) 教員への学部FD活動に関するアンケート調査
- (2) 学生への授業評価アンケートの実施
- (3) 他大学・他機関で開催されるFD関連セミナーへの参加
- (4) 学内での学部FD研修会の開催
- (5) FD関連情報の共有化への取組み
- (6) FD関連図書の購入

b 実施方法

- (1) 全教員を対象として、講義で工夫している点、授業アンケート結果の活用、ホームルーム運営、学部FD活動で取り上げて欲しい内容等に関するアンケート調査を実施した。集計後、アンケート結果をまとめて冊子を作成し全教員に配付した。アンケート結果を元に意見交換会のテーマを設定し教員間の意見交流を行う機会を設けた。
- (2) 各セメスターの最終週にすべての科目・クラスにおいて学生への授業評価アンケートを実施し、その結果について当該科目担当教員へフィードバックを行った。
- (3) 関西地区FD連絡協議会に加盟して、他大学等のFD関連セミナーの開催情報の提供を受け、全教職員の参加促進を図っている。参加者にはセミナー報告書と参加時の資料の提出を義務付け、報告書と資料を本学図書情報センターの閲覧コーナーに展示し、教職員の閲覧に供している。
- (4) 他大学等のFDの取り組みの中で、本学の教学改善に参考とすべきものについては外部講師を招聘し、講演会形式による学部ならびに大学院FD研修会を開催する機会を設け、講演内容をFD委員会ならびに教学関連委員会において議論し、次年度以降の教学改善に繋げる方策を取っている。
- (5) 研修会の内容等を参加教員だけでなく全教員が共有するために、研修会報告・感想、研修内容の活用例等を学内WEB上に公開することとし、現在準備を進めている。FD関連図書の紹介などもWEB上で行う予定。
- (6) 本学のFD活動に役立つと思われる書籍をFD委員メンバーで持ち寄り、その中から選定を行う。また、図書館にFD関連図書のコーナーを設置し多くの教職員が閲覧できるようにする。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 学部FD活動アンケート実施…平成22年7月15日～23日。全教員にメールで実施、26名から回答。
- (2) 授業評価アンケートの実施…前期・後期セメスターですべての科目において実施。
- (3) 学部FD活動についての意見交流会の開催…平成22年8月6日15:00～17:00 参加教員53名
学部FD活動に関するアンケートのまとめから、1) 授業アンケートの実施と公開について（賛成の立場から）
2) 授業アンケートの実施と公開について（反対の立場から）3) 学生の授業中の受講態度について求めること
4) 低学年に対する学生対応・指導についての4つのテーマを設定し、小グループに分かれてディスカッションを行った。
- (4) FD関連図書の購入…4冊購入。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学部FD活動についてのアンケート結果を教員に配付することにより、各教員が授業で工夫している点、FD活動で取り上げて欲しい内容など情報の共有化を図った。意見交流会では活発に意見が出され、教員の資質向上に向けた取組みとなった。これらの内容がどのように反映されたかは、平成23年度に報告会、交流会を行う。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

アニマルバイオサイエンス学科は、本学設立の理念・目的に立脚し、これまで本学で展開してきた遺伝子・分子・細胞レベルの要素的なバイオサイエンスの知識を基盤とし、個体レベルの生命現象の究明と動物個体の生命科学の教育・研究を通じ、医療・食の安全・安心をも視野に入れた統合バイオ个体学を展開できる人材を養成することを目的として、平成21年4月1日に設置した。

(1) 学生募集状況

本学科は、平成21年度に初の入学試験を実施し、入学定員50名に対して356名の志願者を得た。平成22年度は423名、平成23年度は553名と毎年志願者が増加している。この結果は、本学科が近畿圏・東海圏では見られない学科系統であることに加えて、既設のバイオサイエンス学科と同様の多様な入試方法を採用したことによるものと考えられる。次年度以降に向けては、様々な方法で本学科独自の特徴的かつ幅の広い教学内容を軸に、広域的に本学科の教学理念の周知を図っていく。

(2) 教員組織

本学科の専任教員は、平成21年度、および22年度において届出申請書にて提出した内容通りに配置されており、次年度以降の教員配置計画についても変更はない。

(3) 教育課程とカリキュラム編成

教育課程の考え方、カリキュラム編成や科目設置は、平成21年度、22年度においては届出申請書にて提出した内容通りに履行できている。また、平成21年3月17日に食品衛生管理者・食品衛生監視員の養成施設として登録され、近畿厚生局に申請通りのカリキュラム編成及び科目設置を履行できている。次年度以降においても、届出申請書の計画に記述した編成を遵守していく。

一方、平成21年度には教育効果を考慮すべき科目については、届出申請書にて本学が示した「授業方法に応じた学生数」での教育環境を確保するため、クラス編成の充実で生じる授業担当科目の変更、他学科に所属する教員の早期就任に伴う教育指導の充実および授業担当科目の変更を行った。なお、この変更については、21年度履行状況報告書において反映させている。

(4) 自己点検・評価

本学は、学部完成年次までの自己点検・評価報告書を平成19年度に纏めた。また、平成22年度に大学基準協会への認証評価を受任すべく、昨年度に第2次となる自己点検・評価報告書を、各取組についてのPDCAサイクルを関係各委員会検証の上、纏め、平成22年に入り提出を行い、評価を受けた。

ただし、この度纏めた自己点検・評価報告書には、昨年度設置の新学科については一部の点検・評価に留まるため、新学科の完成年次経過後の平成25年度に自己点検・評価を行う予定としている。

(5) 教員の資質の維持向上の方策

FDについては、学生による「授業評価アンケート」（前期・後期各 semester 各1回実施）の実施とその分析を基にした授業改善に加え、平成18年度に設置したFD委員会の下に学部FDを推進するための部会を設置し、講義及び実験・実習の授業改善に繋げるための各種取組を組織的に実施している。

新学科におけるFDについても、新学科がこれまでのバイオサイエンス学科で展開してきた教育・研究に立脚した設置趣旨を有していることもあり、学部全体のFD活動の中に組み入れる形で組織的に実施し、各学科が有機的に相互作用して授業改善を図るためのシステムを構築していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成23年4月…開学から平成21年度に至る自己点検・評価を公表。

b 公表方法

- ・「自己点検・評価報告書」を刊行し、関係企業、関係諸機関及び希望者に配布。
- ・大学ホームページ上に公開（平成23年4月）

③ 認証評価を受ける計画

- ・開学から平成21年度に至る「自己点検・評価報告書」を作成し、平成22年度に評価機関（大学基準協会）の認証評価を受けた。

(注) ・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成23年10月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.nagahama-i-bio.ac.jp/corporate/detail/set.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。